



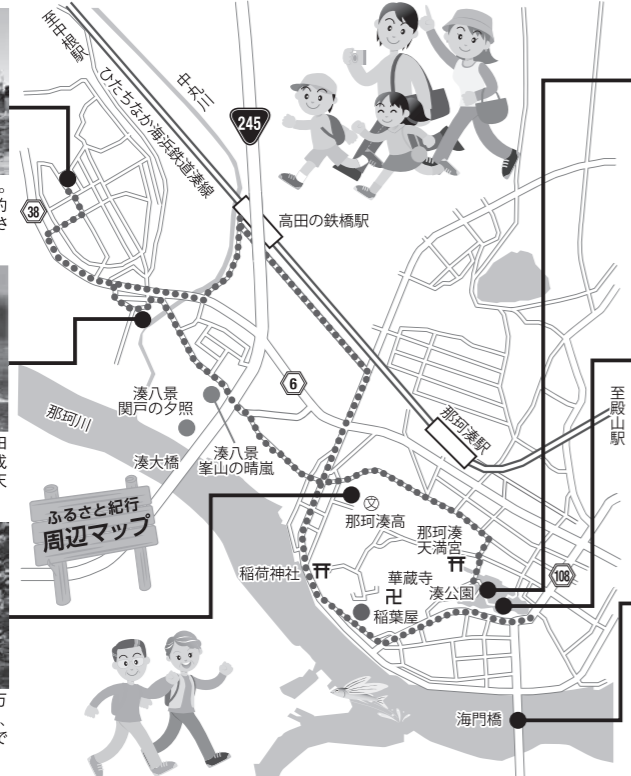
●寺前前方後円墳  
柳沢の台地突端部に築かれた前方後円墳。墳丘の長さは約41mで、後円部の直径は約26m、高さ約4m。前方部は幅約11m、高さが約2.3mとなっている。



●水車場跡  
安政2年(1855年)に大工棟梁だった飛田与七の設計で工事がスタートし、翌年に完成し、十数門の大砲をせん孔したと言われる。天狗党の乱で焼失した。



●那珂湊反射炉跡  
高さは約15m、使用された耐火煉瓦は約4万枚と考えられている。国内の反射炉としては、佐賀藩、薩摩藩、伊豆韭山(幕府)に次いで4番目の古さを誇る。



※見学の際はマナーを守り、敷地内での飲食・喫煙などしないようご注意ください。



●湊公園  
園内には徳川光圀公が須磨明石(兵庫県明石市)から取り寄せた樹齢300年以上の黒松が今も残る。写真は旧那珂湊市初代市長の宮原庄助像。



●貧賓閣(いひんかく)跡  
元禄11年(1698年)に徳川光圀公が日和山と呼ばれる高台に建てた水戸藩別邸。湊別館、浜御殿、湊御殿とも呼ばれた。歴代の藩主も度々訪れたという。



●海門橋  
ひたちなか市海門町と大洗町磯浜町を結ぶ橋長約408mの道路橋。昭和34年に完成した。当初は有料道路だったが、昭和54年に無料化された。

Vol.83

駅からのふるさと紀行 ひたちなか海浜鉄道湊線

たかだ てつぎょう

# 高田の鉄橋駅

なかね なかみなと

## 中根 那珂湊

●次回は3月24日 ※イラストはイメージです。  
「野上原駅」を掲載予定です。



稲葉屋(まちかど博物館)  
明治20年頃創業の昔ながらの菓子店。人気の手づくり黒あめ「反射炉のてっぽう玉」は、代々受け継がれる味。



いきいき茨城ゆめ国体2019  
を応援しております。

働く人と、世界を走る。

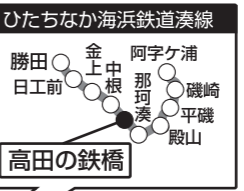
# ISUZU

## 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)  
https://www.ibaraki-isuzu.co.jp



●「日工前駅」以来、湊線52年ぶりの新駅。雨の日はホームの上を通る国道245号の跨線橋が傘代わりになる。



●鉄橋を渡る車両が描かれた駅標



●駅のすぐ西側にある中丸川橋梁

高田の鉄橋駅は平成26年の開業。ひたちなか海浜鉄道湊線の中で最も新しい駅だ。駅の南西側は住宅街があり、近年は商業施設も増えるなど、さらなる発展が期待される地域。隣の那珂湊駅までは約1キロメートルと近い。駅名が正式決定されるまでの仮称は「柳が丘駅」だったが、近くに中丸川に架かる鉄橋があることから「高田の鉄橋駅」となった。鉄橋の正式名は「中丸川橋梁」だが、地元の人々は旧地名から「高田の鉄橋」と呼んでおり、親しみやすい呼び名が駅名になった。

駅周辺の国道245号沿線は開発が進む一方、中丸川と那珂川が合流することから「湊八景」に選ばれた景勝地もある。

湊線の最も新しい駅だが、湊線は国営ひたち海浜公園までの延伸が計画されている。新駅という呼び名は、近い将来に変わってしまう可能性が高い。

湊線で52年ぶりに開業した新駅ホームの上を跨線橋が覆う

### ● 散策コース ●

那珂川と中丸川に挟まれた駅西側の台地には古墳が多い。なかでも寺前前方後円墳は、ひたちなか市最古の古墳と言われている。中丸川沿いには市指定史跡の水車場跡がある。反射炉で製造された砲身をこの地に運び、水車の力で穴を開ける作業が行われていた。

水車場跡から湊八景の「峯山の晴嵐」、「関戸の夕照」の石碑を探しながら、那珂湊反射炉跡を目指す。反射炉とは大型の金属溶解炉のこと。徳川齊昭公が海防を目的に建設した。天狗党の乱(1864年)で破壊されたが、昭和12年に現在の模型が復元された。反射炉

の入口には水戸藩小石川邸にあった山上門(西郷隆盛や佐久間象山もぐったと言われている)が移築されている。次は湊公園へ。水戸藩別邸跡を整備した公園で、徳川光圀公が建てた貧賓閣(いひんかく)は、約300坪の建物に約30もの部屋があり、宴席などが催された。湊公園からは那珂川河口に架かる海門橋が見える。海門橋を見ながら、与謝野晶子が「那珂川の海に入るないやはての海門橋の白き夕ぐれ」と詠んだ景色をじっくりと眺めてみよう。那珂川沿いの稲葉屋には、「反射炉のてっぽう玉」という餡があるので、ぜひ味わって欲しい。



稲葉屋の「反射炉のてっぽう玉」